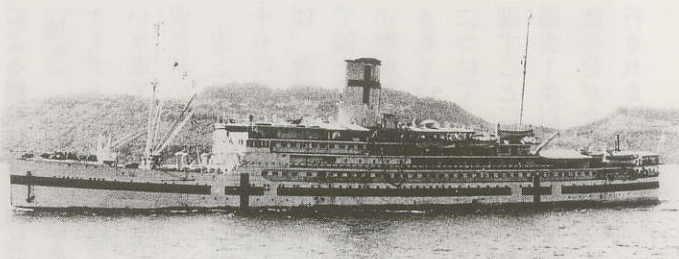


戦争に翻弄された オランダ生まれの病院船

文・山田廸生（日本海事史学会副会長）



天応丸（筆者所蔵）



タンジヨンブリオク港のオプテンノール（Lucas Lindeboom「Old K.P.M.-Ships from the Past」より）

てんのう 天応丸

◀ 主要目 ▶ 海軍病院船、総トン数6,076トン、長さ129.4メートル、幅16.8メートル。主機レンツ汽機、2軸、出力6,160馬力、航海速力15.5ノット。オランダ王立郵船会社（KPM）の客船オプテンノールOp ten Noortとして1927（昭和2）年ネーデルランド造船所で竣工。インドネシア海域のクルーズ、次いでジャワ島～シンガポール～スマトラ島に就航。太平洋戦争勃発に伴いオランダ海軍の病院船となる。1942（昭和17）年2月日本海軍が拿捕し、天応丸次いで第二氷川丸と改名。終戦直後、日本海軍が若狭湾で爆沈処分。

オランダKPMのフラグシップ

前身はオランダ王立郵船会社（KPM）のフラグシップ「オブテンノール」Op ten Noortである。1927（昭和2）年アムステルダム、ネーデルラント造船所で建造された。僚船「プランシウス」Pancius（5955総トン）とほぼ同型。船名はKPMの草創期の社業を指導した人物名からとられた。

当初はインドネシア海域のクルーズ、次いで「プランシウス」が就航していたジャワ島北岸（バタヴィア、スラバヤ）～ムントク（バシカ島）～シンガポール～ペラワン（スマトラ島）～デリ（同）を結ぶ航路に加わった。クルーズ船客は米国人が多かった。

KPMは本国オランダへの航路をもたない典型的な植民地海運会社である。1888（明治21）年にバタヴィア（現ジャカルタ）に設立。3年後、小型船13隻で開業した。運航海域はオランダ領東インド、つまり今のインドネシア海域である。ここは名だたる多島海であり、多くの小型船を必要とした。インドネシア独立後、KPMの航路は国営海運会社ベルニ（PT Pelni）に引き継がれた。

戦争がこの船の前途を変えた。太平洋戦争勃発後、「オブテンノール」はオランダ海軍が徴用、病院船に改装された。改装工事はバタヴィアの外港タンジョンプリオクのKPM

修理工場でおこなわれた。

傷病者収容数は200人。軍医20人、看護婦10数人が乗船。船内は明るく清潔だった。病室は船内の好位置を占め、スペースが広かった。ベッドは移動式。手術室に水銀灯を使用。冷房装置も適宜備わっていたという（高橋茂『氷川丸物語』かまくら春秋社）。

ジャワ海で日本海軍が臨検拿捕

開戦3カ月後のスラバヤ沖海戦の前日（1942年2月26日）、病院船「オブテンノール」はジャワ海で日本海軍に拿捕された。同船を臨検し拿捕したのは駆逐艦「天津風」である。同艦は僚艦とともに、ジャワ島に上陸する輸送船40余隻を護衛していた（天津風艦長・原為一『帝国海軍の最後』河出書房）。

臨検したところ、傷病兵の姿はなく、船長、船員のほかに軍医、看護婦など10数名が乗船しているだけで、とくに問題となる点はなかった。となると、日本海軍は、ジュネーブ条約を無視して病院船「オブテンノール」を拿捕したことになる。この点について日本政府は、拿捕ではなく、ハーグ条約により同船を「抑留」したという立場をとっており、国際条約に違反していないとしていた。

ともあれ、この事件は「オブテンノール」のその後の運命を変えることになった。事件後、同船はスラウエシ島のマカッサルに係留。

連合軍捕虜の収容に使われた。

次いでこの年（1942年）10月、同船は日本本土に回航され、海軍病院船に改装。原船名の音をとって「天応丸」と改名し、南方海域を転々とした。当時の写真を見ると煙突が太くなっている。前歴を隠すための義装工作だったようだ。1944（昭和19）年11月には「第二氷川丸」と再改名された。

終戦直後、若狭湾で爆沈処分

「第二氷川丸」は舞鶴で終戦を迎えた。拿捕時の不当性をオランダ側から追及されることを懸念した日本海軍は、同船の爆沈処分を決めた。爆沈作業を指揮したのは、舞鶴鎮守府防備隊の佐藤吾七海軍大尉（当時）である。

佐藤元大尉によると、終戦直後の8月19日夜、同船は舞鶴を出港し、杵島（くしじま）の北東740メートル、水深140メートルの若狭湾上で停船。10数人の作業隊が船底に2個の爆雷を取り付け、250メートル離れた海上から佐藤大尉が点火して沈めたという（1978年10月31日付『大阪毎日新聞』）。

だが、1953（昭和28）年になってオランダとの間で、恐れていた賠償請求問題が生じた。そして1978（昭和53）年、日本政府がオランダ政府に1億円の見舞金を支払うことで決着した。両国の合意書簡は、同年10月30日に東京で取り交わされた。